

新年のごあいさつ

令和の新春を迎えて

津市長 前葉 泰幸

あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心よりお慶び申し上げます。

昨年は、令和の時代が幕を開け、市民の皆様の幸せな暮らしがさらに広がり、持続可能な都市として発展し続けていくため、市政運営に全力で取り組んでまいりました。

より質の高い市民サービスをお届けするため、一志こども園を開園し、観音寺地区をはじめ3つの放課後児童クラブを整備するとともに、大型ごみの無料回収は75歳以上の高齢者世帯にも対象を拡大しました。

また、地域で育み、これまで大切にしてきた美里地域の水源かん養林を生かした自然体験や環境保全を学べる場として、美里水源の森をオープンしました。

さらに、未来への責任として、いつまでも住みやすく、輝き続けられる津市を次の世代へ引き継いでいくため、江戸橋を架け替え、雨水管理総合計画に基づくより効果的な雨水対策に取り掛かりました。津波発生時には広域避難の拠点となる津南防災コミュニティセンターを整備し、農地の耕作継続・利用最適化に向け関係機関が連携して取り組むための令和版営農会議も動き出しました。

そして、日本中が沸いた昨年のラグビーワールドカップに続き、今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、津市でも、カナダレスリングチームのキャンプが行われます。まさにスポーツへの熱の高まりを感じる中、2021三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けたリハーサル大会が、5月以降に市内各所で開催されます。津市の素晴らしい自然や会場となる施設を最大限生かし、全国から訪れる選手や観戦される方々を、おもてなしの心で津市を挙げて歓迎いたします。また、6月には、新たな文化芸術の拠点として久居アルプラザがオープンします。津市の文化芸術の創造と発信をリードするとともに、久居地域のにぎわいづくりにもつなげてまいります。

令和という新しい時代に市民の皆様の願いや望みをいち早く感じとり、その実現に向けて、将来を見据え、一歩先行く志を持って市政運営に着実に取り組んでまいります。本年が笑顔あふれる素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。